

令和7年度 (現代の国語) シラバス

教科	国語	科目	現代の国語		
単位数	2	学年	1	類型	共通
教科書	高等学校 現代の国語 (第一学習社)		副教材	プレミアムカラー国語便覧 (数研出版) 等	
学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	『生きもの』として生きる」(中村桂子) 「夢十夜」(夏目漱石) 「水の東西」(山崎正和) 『間』の感覚」(高階秀爾)	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深めることができる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫することができる。 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解することができる。
2 学期	『文化』としての科学」(池内了) 「羅生門」(芥川龍之介) 「現代の『世論操作』」(林香里)	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解することができる。 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述することができる。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つことができる。
3 学期	「不均等な時間」(内山節) 「城の崎にて」(志賀直哉)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解することができる。 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めるなどして、自分の意見や考えを論述することができる。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	言語活動を通して、実社会に必要な国語の知	・定期考査

	識や技能を身に付けている。	・ 確認テスト
思考・判断・表現	言語活動を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 確認テスト ・ 課題の解答 ・ 発表の内容
主体的に学習に取り組む態度	言語活動を通して、積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に取り組む態度 ・ 授業中の発表内容 ・ ノートや課題等における記述 ・ 課題等の取組状況